医療機器産業で地域活性化

東九州メディカルバレー構想（大分・宮崎）

大分県と宮崎県が医療機器産業の基盤構築を目指す「東九州メディカルバレー構想」。2011年に国の地域活性化総合特区計画に承認されてから第３期14年を迎える。大分大学、宮崎大学は産学官連携と異業種の融合による地域の活性化とアジアに貢献する医療産業拠点として医療機器の開発・製造・人材育成を行っている。両県が共同開催する同構想推進大会を控えた今、その実現に向けたこれまでの取り組みについて紹介する。

第３期計画、総仕上げの年

大分県と宮崎県の両県が医療機器産業の集積を目指してスタートした「東九州メディカルバレー構想」。自治体の枠を超えた産学官連携による介護・福祉機器分野も含めた医療機器の開発とグローバルな人材育成も進んでおり、26年度は総合特区第３期計画の最終年度で15年間の総仕上げの年を迎える。両県では、医療機器開発のワークショップや国内外で開かれる展示会出展への支援などを通じて地場企業を後押しする計画だ。

医療機器産業への参入はそう簡単ではない。トライテック（大分市）の硬性内視鏡洗浄装置「オプリス」は25年に医薬品医療機器総合機構（ＰＭＤＡ）へ届け出を提出し、ようやく市場展開の入り口にたどりついた。開発から実に８年かかった。今春、長崎大学と大分大学の臨床現場でエビデンスを得た上で、九州内から広げていく計画だ。

トクソー技研（大分県宇佐市）は、カフ圧をデジタル表示する「カフチェッカーＤＪ」を発売した。３月には気管チューブのカフ圧管理をより高性能に自動化し、家族の負担が減らせる新製品の販売を予定する。

メディキットグループは、宮崎大学らと共同研究を通じて透析患者のシャント音を聴診する電子聴診器「ＫＩＫＵ－ＫＩＴ」とシャント管理用アプリケーション「ＧＡＶＵＬＩ」を発売済みだ。

２月17日の東九州メディカルバレー構想推進大会では、両県の企業の成果紹介も詳しく行われる。

昨年開催した東九州メディカルバレー構想推進大会（大分市）

東九州メディカルバレー構想関連イベントで昨年10月に開催した「国際展開シンポジウムｉｎおおいた」

新製品 市場投入進む

推進大会で成果紹介

東九州メディカルバレー構想推進大会 概要

開催日時：2026年２月17日（火）15時～17時

場所：野口遵記念館　ホール

〈プログラム〉

◆オープニング（開会セレモニー）
15時～15時20分
・主催者あいさつ
宮崎県知事、大分県知事、延岡市長
・来賓あいさつ
九州経済産業局長

◆基調講演１
15時20分～15時50分
演題「経済産業省の医療機器産業ビジョンと医療機器産業育成政策」
講師　経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室室長補佐　丸山晴生氏

◆基調講演２
15時50分～16時20分
演題「医療機器専門商社が創るイノベーションの未来～目利き力と地域連携で拓く新市場～」
講師　センチュリーメディカルマーケティング統括部ビジネス開発チーム　久保奈津美氏

◆宮崎県企業取組紹介
16時20分～16時40分
昭和社長　黒木保善氏「内視鏡ホルダーの開発の経緯と今後の展望について」

◆大分県企業取組紹介
16時40分～17時
大分紙業社長　中津留博史氏「『穿刺痛緩和装置（イトーネ）』開発の経緯と一つの方法論」

◆交流会
18時～19時30分
エンシティホテル延岡（会費5000円）

海外市場で手応え

宮崎県の取り組み

安井のＬＥＤ照明器「コウプライト」

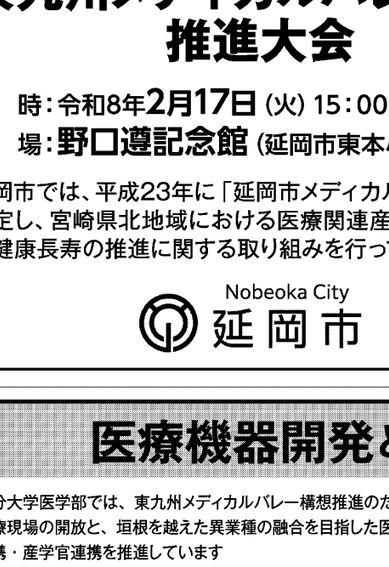
コードレスで利便性に定評

安井（宮崎県門川町）の「コウプライト（ＬＥＤ照明器付きプラスチック鉤）」は、販売から10年が経とうとしている。軽量でコードレスのＬＥＤ照明器なので無影灯が届きづらい狭部や深部の手術で、主に乳腺外科や美容外科など国内の外科医から一定のシェアを確保し続けている。

先端鉤部の先端発光タイプ５種類、背面発光タイプ３種類の全８種類が使い捨て式で、繰り返し使用可能な照明器具部に付け替えて使用する。先端の明るさは両タイプとも３万ルクス以上、照明器の防水機能はＩＰＸ７対応。引っ張り、曲げ強度は１００ニュートンまで荷重可能だ。プラスチック成形で培ってきた技術が生かされている。「利便性を評価いただいており、使っている外科医の先生の口コミからも広がっている」（開発部の波田野真人次長）状況だ。

欧州やアジア、中東など11カ国で展開実績があり、２０２４年の国内外での販売実績は照明器が約１５０本、鉤は約７０００本を販売した。25年から事業部制となり、意思決定の迅速化と効率化を高めて販路の基盤づくりの年となった。26年は、宮崎県と共に海外展示会に出展予定のほか、米国や中国、東南アジアを中心に選択と集中を実施して、よりニーズの高いエリアに販売していく方針だ。

「コウプライトはコードレスで軽く、術野が見やすい。今後も外科医のみなさまの手術の効率化の一助になれたらと思う」（メディカル事業部営業部の白男川卓哉主任）。


発光するコードレス鉤「コウプライト」（安井提供）

キーマンに聞く

大分県の取り組み

臨床現場見学で産学官交流

デジタル・ＡＩ技術の導入推進

大分大学医学部先進医療科学科
大分大学医学部付属臨床医工学センター
教授　穴井 博文 氏

東九州メディカルバレー構想および日本医療研究開発機構（ＡＭＥＤ）事業の「優れた医療機器創出に係る産業振興拠点強化事業」でこれまでに実績のある取り組みを続けてきた。２０２５年度の特色としてはコロナ以降初、５年ぶりに臨床現場研修を再開し、企業の方々に臨床現場を見学していただくと同時に多くの医療従事者との直接ディスカッションを行うことができた。24年に再開した「医看工芸ものづくりワークショップ in おおいた」では、本学医学部先進医療科学科の学生も参加し、他業種が相互交流する学びの場となった。

もう一つ大きな活動として、タイを中心とした海外展開に力を入れた。コロナ禍で、一時期海外展開は中断していたが、本学科の臨床医工学コースの丹下佳洋講師が中心となって臨床工学技士やディーラー、有識者を集め、市場展開と人材育成を目指した「海外展開シンポジウム」を大分市で開催した。

東九州メディカルバレー構想の特区計画は第３期の終盤に至り、方向性の確認と新たな展開を目指す時期に来ていると考える。既にＡＩ技術がものづくりの工程や製品自体にも導入されてきており、今後、産業界全体が変わっていくことが予想される。それに先立って産学官連携の手法、方向性も進化していかなければいけない。大学内ではデジタル技術やＡＩ技術を医療現場に結びつけていく研究活動を推進する必要がある。次世代へ向かって改革していく年になる。

東九州メディカルバレー構想推進大会
参加費無料
日　時：令和8年2月17日（火）15：00～
会　場：野口遵記念館（延岡市東本小路）
延岡市では、平成23年に「延岡市メディカルタウン構想」を策定し、宮崎県北地域における医療関連産業の振興と住民の健康長寿の推進に関する取り組みを行っております。
Nobeoka City 延岡市

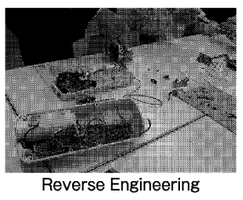
ISO9001　ISO13485 認証取得
第二種医療機器製造販売業許可取得
YASUI 安井株式会社
本社・工場／宮崎県東臼杵郡門川町大字加草2725番地
TEL:0982-63-7111 / FAX:0982-63-7130
https://www.yasui-kk.co.jp
私たちは医療機器メーカーや研究機関の皆様に、高品質な受託製造を提供します。
●設計からパッケージングまで一貫対応　●複数の自社製品開発実績
●FDA/MDR認証機器の製造受託も可能　●2017年設立の専門工場
●クリーンルームクラス8（クラス100,000）完備　●医療機器開発を医療従事者と共に進める経験

体内洗浄を可能とした硬性内視鏡レンズ洗浄装置
「OPLYS」
株式会社トライテック
代表取締役 竹﨑　博
本　社　工　場：大分県大分市青崎一丁目３番42号
野津・医療工場：大分県臼杵市野津町大字吉田974-10

デジタルカフ圧調整器
カフチェッカー DJ
・デジタル表示で高い視認性
・ジョグポンプ内蔵で設定容易
・開閉クランプで圧力低下防止
やさしさをカタチに
トクソー技研株式会社
大分県宇佐市大根川３１８番地　ＴＥＬ：0978-33-5595
ホームページ

医療機器開発と地域活性化を目指した人材育成
大分大学医学部では、東九州メディカルバレー構想推進のため医療現場の開放と、垣根を越えた異業種の融合を目指した医工連携・産学官連携を推進しています
医療機器開発に参入する地場企業を対象とした、医療ビジネス研修会、医療機器ニーズ探索交流会、座談会など医療従事者と企業が直接ディスカッションできる場と情報を提供しています
医療機器開発情報発信サイト CENSNET®
▶医療・福祉ニーズ、企業シーズを公開
▶医療機器開発研修・教育コンテンツを掲載
臨床現場主導の産学官連携

臨床現場研修

医看工芸ものづくりワークショップ

Reverse Engineering

大分大学 医学部臨床医工学センター
大分県由布市挾間町医大ケ丘１丁目１番地　https://ikogaku.jp

大分県医療ロボット・機器産業協議会
会員企業：183社
支援機関：32団体
（令和7年12月時点）
大分県では、「東九州メディカルバレー構想」を推進するため、平成28年度に「大分県医療ロボット・機器産業協議会」を設立し、県内の医療関連機器産業の振興に向けた様々な活動を産学官が一体となって行っています。
協議会は200を越える会員企業、支援機関と共に活動中です。「医療関連機器って専門的で難しそう・・・」「異分野だから」と感じる方もいらっしゃると思います。私たちは異業種の方々の加入も大歓迎です。当協議会に関心のある方は、是非ご連絡ください!
医療関連機器産業への新規参入から研究開発、国内外への販路開拓まで幅広く支援！
新規参入支援
・医療関連産業参入促進セミナー
・新規参入企業コンサルテーション
・医療機器メーカーとのマッチング
研究開発支援
・医療機関・介護施設とのマッチング
・試作品開発・事業化支援補助
・製品評価・エビデンス構築支援
販路開拓支援
・医療機関・介護施設向け普及促進補助
・国際展示会共同出展・学会展示補助
・海外展開・マッチング支援

医療関連機器産業参入促進セミナー

医療機関・介護施設とのマッチング

国際展示会への共同出展

【事務局】所在地：〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号　大分県庁舎本館7階 大分県商工観光労働部工業振興課内
TEL：097-506-3276　FAX：097-506-1753　e-mail：jimukyoku@medical-valley.jp

BiZ·NOVa ビズノヴァ
業界トレンド、市場動向、注目技術、企業の一押し製品がわかる　モノづくりを中心にコア、ニッチな分野まで業種別、分野別に幅広く網羅